

時期	2年B巡	単元	実習	教科名	電気4（車体電装）	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	実習ノート	発行日	2024.4.1	
			サーキットテスタ			
総時限	32時限		ラインマーカー	教科担当	吉田	
必要時限	32時限					木藤

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の点検、測定、故障診断等及び自動車の電子制御系の電子制御方法、点検方法等を指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①車体電装品の構造、機能を理解する。
- ②車体電装品の点検、故障診断の判定が出来る。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①パワーウィンドウ装置の構成部品、名称、作動、電流の流れが理解出来るようになる。
- ②パワーウィンドウ装置の着脱、点検、故障原因探求が出来る。
- ③電動ドアミラー装置の構成部品、名称、作動、電流の流れが理解出来るようになる。
- ④電動ドアミラー装置の着脱、点検、故障原因探求が出来る。
- ⑤車体電装品の配線図からの回路の抜き出し、点検が出来る。
- ⑥外部診断機（コンサルトⅢPlas）、サーキットテスタによる電気回路の測定、故障判定が出来る。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験+筆記試験 100点にて評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①パワーウィンドウ装置の故障原因探求。
 - ②電動ドアミラー装置の故障原因探求。

準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
一年C巡電気2の実習ノートを基に電装品の故障診断方法を確認し復習する。

